

ヒラメの放流について、下記の内容で大阪府を通じて令和5年5月24日に報道提供を行いました。

## 栽培漁業センターで育った

# ヒラメの稚魚 10万尾を放流

(公財)大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の魚介類資源を増やすため、キジハタやトラフグなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさにまで成長させて放流する「つくり育てる漁業(栽培漁業)」を推進しています。

このたび、ヒラメの稚魚が放流に適した大きさに成長しましたので、下記により放流を行います。

### 記

1. 放流対象種 ヒラメ

2. 放流尾数 100,000尾 (サイズ:全長8cm)

3. 放流日時・放流場所・放流尾数

令和5年5月30日(火曜日)	9時30分から	泉佐野市地先
	11時30分から	岬町谷川地先
	13時30分から	阪南市箱作地先
令和5年5月31日(水曜日)	9時30分から	泉南市岡田地先
	11時30分から	岬町淡輪地先
	13時30分から	阪南市西鳥取地先
令和5年6月1日(木曜日)	9時30分から	泉南市樽井地先
	11時30分から	岬町深日地先
	13時30分から	岬町小島地先
令和5年6月2日(金曜日)	9時30分から	阪南市尾崎町地先
	14時00分から	田尻町地先

※放流尾数は、各箇所につき約9,100尾です。

4. 放流後の稚魚の成長予測

今回放流する稚魚は、今年の年末頃には、全長約35センチメートル(約400グラム)に成長し、漁獲対象のサイズとなる見込みです。

5. その他

中間育成については、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センターの技術指導を受けています。

